

○目次

★ 調査の概要

1. “とちぎ”の現状評価（どのように感じているか）
2. 将来居留意向（将来も“とちぎ”に住みたいか）
3. “とちぎ”の特色（他県に誇れるもの、魅力あるもの、自慢したいもの）
4. これからの望ましい「“とちぎ”の姿」
5. よりよい“とちぎ”づくりに向けた参加意向

★ 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、「新しい総合計画」策定にあたり、その参考とするため、県内の高校生の意向を調査したものである。

(2) 調査項目

- 問1 “とちぎ”の現状評価（どのように感じているか）
問2 将来居留意向（将来も“とちぎ”に住みたいか）
問3 “とちぎ”の特色（他県に誇れるもの、魅力あるもの、自慢したいもの）
問4 これからの望ましい「“とちぎ”の姿」
問5 よりよい“とちぎ”づくりに向けた参加意向

なお、問4と問5は、本年2月に実施した県民意向調査（5,000人対象）と同じ項目である。

(3) 調査の実施方法

対象者は、県内の高校（県立・私立を含む。）に在籍する2年生とし、学科や地域に配慮して26校（クラス単位で概ね1,000名を目標）を抽出し、各学校の協力を得て、平成16年7月に実施した。26校からの回収数は1,051票であった。

回答者内訳		[男女別構成]	
(総回答数)	1,051人	男性	484人 (46.0%)
		女性	561人 (53.4%)
		無回答	6人 (0.6%)

実施時期：平成16年7月